

当社が、平成28年8月29日の下関市の景観審議会に提出した現地説明用のパネル写真（以下、「本パネル写真」といいます。）について、景観についての参考資料として、本ウェブページにも掲載いたします（以下の写真①及び②が本パネル写真です）。

景観審議会にはA0サイズ（841mm×1189mm、A4サイズ用の紙の約16倍）の大きさのパネル写真を提出していますので、本ウェブページに表示されている大きさでは見にくい部分があるかもしれませんがご容赦ください。

なお、本パネル写真作成の前提は以下のとおりです。

本パネル写真は、2か所の説明場所での風車の大きさを直接比較するための資料ではなく、各説明場所からの風車の見え方を理解していただくために用意した資料です。見え方をご理解いただくための資料としては、手前の土地や、背景の島、山並みの風景等との比較をしていただくことが重要であるため、これらの風景等が入る写真を使用しています。

村崎ノ鼻からの景観説明においては、写真①「村崎ノ鼻」に示すように、横長のパノラマ形式の写真を提示しています。左右方向に離れている背景の島などを入れて風車と対比しやすい（イメージしやすい）写真になっています。（※景観写真の一般的な撮影方法である一眼レフカメラ35mmで撮影したものを数枚、横につなぎ合わせました。）

村崎ノ鼻からの景観説明においては、A0サイズのパネルに写真①をそのままプリントしたものを提出しています。この写真①ではA0サイズで最も陸に近い風車のハブ高さは約34mmになります。

ところで、長州出島からの景観の場合、風車までの距離が遠く、1枚の写真で背景の島や山並みが入り、それらと対比できる写真②になります。

長州出島からの景観説明においては、写真②をより大きく見やすくするためA0サイズのパネルに合せて拡大したものを提出しています。そのためA0サイズで最も陸に近い風車のハブ高さは約36mmになります。

長州出島からの景観について、参考までに風車の大きさを直接比較するために作成したものが写真③です。村崎ノ鼻から最も近い風車までの距離は1360m、長州出島から最も近い風車までの距離は3290mで、約2.4倍の距離の差があります。このため、A0サイズで写真内の最も近い風車のハブ高さは14~15mm程度となり、風車が小さく見にくい写真になります。

以上、背景との対比で風車の高さをイメージしやすい写真を提示することに主眼をおいた写真を提示したため、結果的に写真上では風車が同じような高さになっていますが、実際には村崎ノ鼻から見た場合と、長州出島から見た場合に、風車の大きさが同程度に見える訳ではありません。風車の大きさの比較を目的とする場合には、上述の写真①と③をご覧ください。